

環境活動レポート

< エコアクション21 >

第40期

【2008.10.01 ~ 2009.09.30】

2009年10月01日
中島精工株式会社

1 環境方針

〈基本理念〉

中島精工株式会社の全社員は、環境問題が人類共通の最重要課題であるとの認識のもと、地球環境と地域社会との共生を目指し、環境保全に配慮した事業活動を行ないます。

〈基本方針〉

- (1) 当社は、各種リードフレームの生産・販売をしております。すべての活動において環境保全に努め「地球に優しい企業」を目指します。
- (2) 全社員が環境に与える影響を的確に把握し、環境保全と汚染予防の活動を継続的に実施します。
- (3) 環境関連の法律、規制、条例及び当社が受け入れを決めた基準を遵守します。
- (4) エネルギー・廃棄物等を削減し、また、分別を徹底することによる再資源化を推進します。
- (5) この環境方針を全社員に周知すると共に、一般に公開します。

改定 2009年10月1日

2004年6月1日策定

代表取締役社長 稲玉 和平

2. 会社概要

名 称	中島精工株式会社
代表者名	代表取締役社長 稲玉 和平
設 立	昭和44年10月
資本金	1,000万円
売上高	30,050万円(第40期(2008.10~2009.09)実績)
所在地	〒387-0001 長野県千曲市大字雨宮926-1 TEL:026-272-2148 FAX:026-272-2564
従業員数	21名
事業内容	TN液晶表示(LCD)用リードフレームを中心とした、精密電子部品の技術開発から量産まで一貫して手がけています。特に高い信頼性が要求される車載用LCDのリードフレーム分野では、国内トップクラスのシェアを誇ります。 また、当社独自の製造装置は優れた生産技術との融合により、無人運転を実現しています。
営業品目	LCD用リードフレーム、HIC用リードフレーム
環境管理責任者	代表取締役専務 中島 高広

事業規模

	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
売上額	44,100万円	54,300万円	49,100万円	45,800万円	30,050万円
従業員数	23人	23人	23人	24人	21人
延べ床面積	1,038m ²	1,038m ²	1,038m ²	1,783m ²	1,783m ²

3. 環境目標とその実績

(1) 中長期及び第41期目標(対40期比)

管理項目	第40期実績	第41期目標	第42期目標
電力使用量(kw)	201,907	222,098	220,079
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	76,320.85	83,953.04	83,189.86
削減率(%)	-	10.0	9
灯油使用量()	1,362.9	1,772	1,758
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	3,396.25	4,415.70	4,380.81
削減率(%)	-	30.0	29
廃棄物(可燃ごみ)排出量(kg)	719.5	935.4	928.1
削減率(%)	-	30.0	29
水道使用量(m ³)	169.0	170.7	169
削減率(%)	-	1.0	0

(2) 第40期環境目標とその実績(対39期比)

管理項目	第39期実績	第40期目標	第40期実績
電力使用量(kw)	259,424	256,830	201,907
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	98,062.27	97,081.74	76,320.85
削減率(%)	-	-1.0	-22.1
灯油使用量()	1,333	1,320	1,362.9
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	3,321.74	3,289.35	3,396.25
削減率(%)	-	-1.0	2.2
廃棄物(可燃ごみ)排出量(kg)	1,274	1,261	719.5
削減率(%)	-	-1.0	-43.5
水道使用量(m ³)	229	226.7	169
削減率(%)	-	-1.0	-26.2

4. 環境活動計画の内容

- (1) 電力消費量の削減
 - 1. 昼休みの照明は、必要最小限にする
 - 2. エアコン使用時間・温度管理の徹底
 - 3. 定期的なエアコンのフィルター清掃(冷暖房効率アップ)
 - 4. 電気ストーブの使用頻度削減
- (2) 灯油使用量の削減
 - 5. 石油ストーブの温度管理の徹底
- (3) 廃棄物排出量の削減
 - 6. 社内文書の電子化(印刷物削減)
 - 7. ゴミの分別の徹底(リサイクル促進)
 - 8. 個人で持ち込んだゴミの持ち帰りの徹底
 - 9. 副資材のリサイクル化の促進
- (4) 水道使用量の削減
 - 10. 手洗い中の止水の徹底
- (5) その他
 - 11. ウォームビズの促進

5. 環境活動の取組結果の評価

- (1) 電力使用量
第40期は、景気の変動により受注が落ち込み、生産調整に伴う休業の実施を余儀なくされたため、結果電力使用量は目標値を大きくクリアする事ができた。
稼働が少ない結果の目標値クリアであるため手放しで喜べないが、使用していないプレス機の上の照明を消す、無駄な電気は使わない等社員のEA21活動に対する取組姿勢を見ることができた。
- (2) 灯油使用量
灯油使用量は、購入量でみている為4月の購入量が多すぎたことにより第40期は目標値をクリアする事ができなかった。
- (3) 廃棄物(可燃ごみ)排出量
電力使用量同様、稼働が少ない結果の目標値クリアである。
地域の資源回収にも協力し、今後も削減に向けて努力して行きたい。
- (4) 水道使用量
電力使用量同様、稼働が少ない結果の目標値クリアである。
第41期は稼働が増えても削減に向けて努力して行きたい。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社が遵守する環境関連法規の遵守状況について、環境管理責任者の中島高広が中心となりチェックを行い、現在及び過去3年間問題のないことを確認しました。また、関係機関からの指摘や周辺住民からの苦情等はなく、訴訟等もありませんでした。

以上